

備 前 市 事 務 事 業 評 価 表

事務事業名	身体障害者小規模通所授産施設運営事業		コード	担当課係	市民福祉課福祉係
			02-01-03-11	担当者	藤原弘章
事業実施期間			平成11年～	電話	72-1104
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	障害者（児）福祉			
	施策	社会参加の促進			

事業について	
目 的	障害者にとってもっとも身近な市において障害のある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会の実現に向けて、障害者の需要に応じた事業を実施することにより、障害者の自立と社会参加の促進を図る
対 象 （誰のために）	市内の障害者
内 容	授産施設の運営の安定化を図るため、補助金交付等を行う

事業の結果													
実施項目		17年度											
		回 数 な ど		(単位)		回 数 な ど		(単位)		回 数 な ど		(単位)	
授産施設利用者数		10 人											
事業費  (単位：千円)		事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
		直接事業費	8,675	国庫補助金等	1,965	直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
		人件費	7,418	受給者負担		人件費		受給者負担		人件費		受給者負担	
				市債				市債				市債	
		合計	16,093	一般財源等	14,128	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0
必要人員		2.23 人							人				
結果指標①	結果指標名	授産施設利用登録数											
	結果指標量	12											
	単位	人											
	対前年比	—				0.00%							
	事業費	8,570,925		円				円				円	
単位当たりコスト①		714,244		円				円				円	
結果指標②	結果指標名	授産施設実利用人数											
	結果指標量	10											
	単位	人											
	対前年比	—				0.00%							
	事業費	8,570,925		円				円				円	
単位当たりコスト②		857,093		円				円				円	

事業の成果			
成果指標名	施設利用率	式又は説明	実利用人数（10人）／定員（12人）
	17年度		
成果指標量	83.3%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100.0%	到達目標年度	平成18年度

事務事業の評価		（平成17年度事業）	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：身体障害者福祉法	課題認識 小規模授産施設「浜っ子」が平成17年10月に社会福祉法人化され補助金等の交付を行っているが、この事業は障害者の社会参加と自立支援を図る上で妥当である
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	「浜っ子」の法人化により補助金の交付を行い事業費が増加しているが、県補助金の基準額により行っており適正と考える
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	施設の運営により、障害者の社会参加の促進に寄与しており、地域社会において有効な事業と考える
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメン	障害者が生まれ育った地域で自立していく上で、この事業が担う役割は大きく、不可欠の事業である
	評価区分 <A～E> B

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する（行政資源を集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度 結果指標量①	12
目標値 成果指標量	100.0%
結果指標量②	12

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	利用率の改善	平成18年度	障害者の社会参加の促進

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。